経闘委 日本大学全学共闘会議 経済学部闘争委員会

9.4日大全共斗総決起集会を
克ち取り9.5全国全共斗結成へ

すべての全日大の学友諸君へ、

すべての全日大の学友は今こそ自ら自身に、何が起り、何を為すべきかを、はっきりさせなくてはならない。一九六八年五月二一日の地下素室において、現在被告にされている秋田君が、日大への[illegible]に[illegible]起ち上がり、それに経済学部の学友が団結し偉大なる二〇〇Mデモを貫徹した。そして、あの忘れることの出来ない六月十一日の大衝突があった。[illegible]最大の戦闘といわれたバリケードを構築していった。あの生気に満ちたあの学友諸君は今何を為すべきかをのぞむ。あの時に比して今日一体どうなったのか。[illegible]古田体制は再建されており、経済学部は[illegible]した右翼暴力団の支配が貫徹している。そして更に[illegible]の総括において、昨年九月の大衆団交で勝ちとった[illegible]が抹殺されている。全日大の学友諸君の[illegible]がそして古田体制の撤廃を可能とするのである。

すべての学友諸君!

ここにおいて今はっきりした。事態は明白なのだ。[illegible]十数名が三十数名へ、八十という大衆的結集をかちとり、そうして何を勝ちとったのか。我々日大全共闘は何をしたのか。昨年九月三〇日に我々は一度勝利したかにみえた。しかし真の勝利はあったのか。その大衆団交で獲得した学生権利と民主主義は、ただちにその反動化を開始した。それは何であったか。[illegible]の声明、古田の居直り、右翼暴力団の[illegible]。すべての学友諸君、あの九月のバリケードから解放していった学友は、解放した拠点として十一月二二日の東大全共闘との連帯を行っている。しかし十月一日の佐藤発言以下の[illegible]に対し、我々は何をなしえたであろうか。その[illegible]に対し我々が為すべきことは、大学の管理の手段となった日大当局を[illegible]することであった。このことによっての[illegible]日大斗争の[illegible]させていくことであった。つまり東大全共闘と連帯しなかったということ[illegible]のコミットである。佐藤[illegible]主義[illegible]三十日[illegible]、それと[illegible]日大闘争の[illegible]をなしている。（[illegible]）